

【続報】台風19号の接近に伴う注意喚起

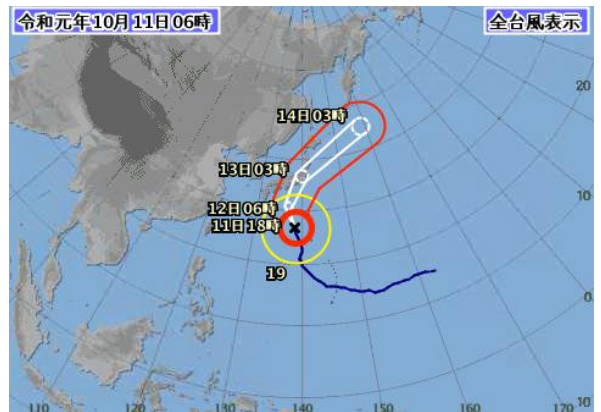
各種ニュース報道のとおり、大型で非常に強い台風19号は勢力を保ったまま明日10月12日(土)、13日(日)に日本列島に接近・上陸する見込みです。本号では、被害の発生・拡大防止に向けた事前の対策について続報をお伝えいたします。

1. 台風19号の進路予想

今朝(10月11日)午前5時18分、および6時45分の気象庁予報部発表によると、大型で非常に強い台風19号は父島の西にありおよそ25km/hで北北西へ進んでいます。

中心の気圧は925hpa、最大風速は50m、最大瞬間風速は70mで、中心の東側370km以内と西側280km以内では風速25m/s以上の暴風となっています。また、中心の東側750km以内と西側650km以内では風速15m/s以上の強い風が吹いています。

台風19号は今後次第に進路を北東に変え、非常に強い勢力を保ったまま、明日12日夕方から夜遅くにかけて東日本にかなり接近または上陸、東北地方へ進む見込みです。



台風19号の進路予想(10/11午前6時45分気象庁発表)

2. 気象予想

<本日>

関東地方の太平洋側に前線が停滞しているため、すでに太平洋側の海上を中心に激しい雨が降っているところがあります。次第に東日本太平洋側から西南諸島にかけての広い範囲で猛烈なしけや大しけとなる見込みです。

<明日>

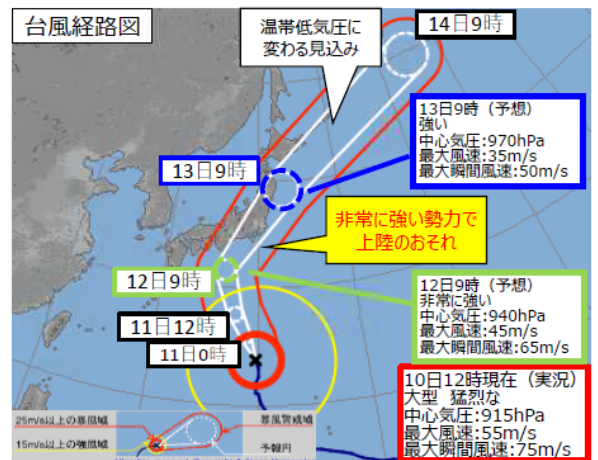
明日の夕方から夜遅くに掛けて東日本に掛けてかなり接近または上陸し、東日本を中心とした広い範囲で暴風や警戒級の大雨、猛烈なしけとなるおそれがあります。

<明後日>

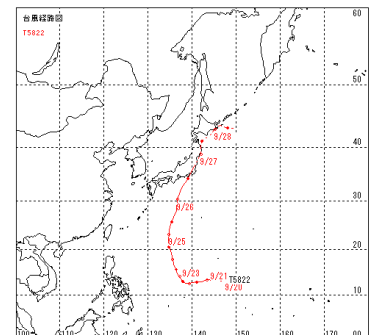
明日、明後日13日にかけては西日本や東日本、北日本など日本列島の広い範囲で高潮の恐れがあり、嚴重な警戒が必要となっています。

台風19号の上陸時の勢力は940~970hpa、また最大瞬間風速は50m~65m/sの間と非常に強い勢力での上陸が見込まれています。つい先日被害をもたらした台風15号は、上陸時960hpa、最大風速40m/sの勢力だったため、同等またはそれ以上の被害が広範囲で発生する恐れがあります。

なお、台風19の進路として、伊豆半島をかすめ関東地方に955hpaで上陸した1958年「狩野川台風」と似ています。この台風による大雨で伊豆半島では土砂災害、狩野川の氾濫により大きな被害が発生しています。改めて、早め、かつ着実な事前対策をお願いします。



台風19号の経路図(10/10午後2時気象庁発表)



「狩野川台風」の進路(気象庁HPより)

